

## 公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	さくら江津			
○保護者評価実施期間	令和7年12月2日 ~ 令和7年12月20日			
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	16名	(回答者数)	10名
○従業者評価実施期間	令和7年12月2日 ~ 令和6年12月20日			
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5名	(回答者数)	5名
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年1月15日			

## ○分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	環境を整えたうえでの支援を行い、療育計画に基づいた目標設定や振り返りのミーティングを行っている。児童一人ひとりの課題を的確に把握し、個別のニーズに寄り添った支援につなげている。	自転車教室やサイクリング、カヌーなど体験型の活動を積極的に取り入れている。また、毎日のミーティングを通してPDCAサイクルを意識し、支援内容の見直しと改善に継続的に取り組んでいる。	日頃体験しにくい活動を支援の中に取り入れる工夫を行っている。児童ひとり一人の課題に丁寧に向きあい、よりよい支援が提供出来るよう努めていく。
2	A型就労、B型就労事業所と連携しており、将来を見据えた支援に繋げている。	長期休暇等を活用し、職業体験を実地している。自社にA型就労、B型就労があることで、児童が実際の就労環境を体験しやすい体制を整えている。	実際の就労で行われている作業を、日頃の自立課題の中に取り入れ、将来を見据えた療育を行っていく。
3	保護者会やマルシェを開催することで、保護者同士や地域の方との交流の場を設けている。	保護者会では悩みを共有し、情報交換が出来る場を提供している。マルシェでは児童が制作した作品を販売し日頃の取り組みや成果を発表する機会を設けている。	地域の方々への周知をさらに進め、放デイへの理解を深めてもらうとともに、家族間の交流が広がるような取り組みを検討していく。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	人材確保が難しい。	放課後デイサービスの認知度がまだ十分に高いとは言えない状況にある。また、度重なる報酬改定により、運営面での厳しさも感じられる。	国や市に対し継続的に要望を提出し、制度や運営環境の改善につながるよう働きかけていく。
2			
3			

## 公表

## 保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名	さくら江津
------	-------

公表日 令和8年1月15日

利用児童数

令和8年1月15日 18名 (16世帯)

回収数

10

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	1	子どもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	10					
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	10					
	3	生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	10				入口にはスロープもあり室内は段差のないバリアフリーです。部屋に番号がつけてあり分かりやすいと思います。	特性に合わせて安心して過ごせる環境を考え、危険個所等が無いかスタッフで点検しながら児童の迎え入れを行います。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	10					
適切な支援の提供	5	子どものことを十分に理解し、子どもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	9	1				個別支援計画に基づき、個人の不得手な部分を分析し、徐々に能力を引き上げるカリキュラムを作り将来に向けた支援を継続していきます。
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	10					
	7	子どものことを十分理解し、子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	10					
	8	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	10					
	9	放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	10					
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	10				特に長期休み中はお出かけやイベントがたくさんあって楽しそうです。	指導員全員で毎日のミーティングを行いプログラムの計画を練ります。長期休暇については早めの計画をして、保護者へ計画書配布をし、子ども達が満足し楽しみながら療育を受け全員が平等に体験できるように工夫していきます。
	11	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他の子どもと活動する機会がありますか。	7	1	1	1	・他の放デイや作業所利用の皆さんとの交流があります。 ・特に必要がないと思います。	限られた時間の中では難しい問題だと思いますが、運動会やマルシェで交流を図っています。
	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	10					
	13	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	10					
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム（ペアレンツ・トレーニング等）や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	9	1				毎年保護者会を開いて意見交換の場を作ったり、情報があれば講習会等のご案内をしていきます。
保護者への説明等	15	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況について共通理解ができると思いますか。	10				家庭、学校、デイサービスで全て子どもの状況が違うことがあるので連絡帳で様子を教えていただくことはとてもありがとうございます。	モニタリング以外でも送迎時、連絡帳内で状況を伝え合い共通理解をしていきます。何か相談があればいつでも対応できる環境を整えています。
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	10					
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	9	1				保護者と子ども達の気持ちやご意見に寄り添いながら支援を継続していきます。

	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	10			・保護者会はいつも楽しみにしています。	保護者会を開いて情報共有を図り、保護者同士の話をする機会を作ることで、お互いの悩みを共感したり支援を参考に出来る場を作って行きます。年に1回マルシェを開催し子ども達の家族に来ていただくことでコミュニティーの場を作ります。
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	10			ヘルプカードの相談をするとすぐに申請先などを教えてくれてとても助かりました。	常に情報収集を心がけ、保護者に対応できる体制を整えご家族が安心して生活できるような環境作りを行います。
	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	10			子どものことで心配があり相談しましたが丁寧に対応してくれてすぐに解決してくれました。	いつでも気軽に相談できる環境を作つてまいります。
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	10				
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	10				
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	10				
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	10			水害や地震などの訓練が定期的に行われているようです。	安全計画に基づき定期的な避難訓練（火災・地震・水害）年4回を実地しています。全員が参加出来る様に曜日の設定など考慮していきたいと思います。
	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	10				
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	10			小さなケガでも詳細に教えて頂けます。	何かありましたらその日のうちに速やかに対応できるようにしています。
満足度	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	9	1		・第2の我が家のように安心して過ごせる場所です。・通所することが当たり前の日々です。先生方を信頼して安心して通えています。	子ども達が安心して通所出来るように環境を整えてまいります。
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	10			・楽しんで帰ってきます。 ・やむなく休む時は本当にとても残念そうです。特に長期休暇があると次に行ける日を心待ちにしています。 ・いつも楽しみにしています。	子ども達が楽しく活動し、自信が持てるようになるプログラムを用意して受け入れをしてまいります。
	29	事業所の支援に満足していますか。	9	1		・いつもありがとうございます。 ・出来ない事、苦手な事を少しづつクリアしていくよう寄り添って頂いていて感謝しています。 ・2重丸をつけたいくらいです！これからもよろしくお願いします。	満足していただける支援と環境を整えてまいります。

事業所における自己評価結果						
事業所名		公表				
さくら江津		公表日 2026年 1月 15日				
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	5			
	2	利用定員や子どもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	5			
	3	生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	5		玄関がスロープになっている。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか。	5			
	5	必要に応じて、子どもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	5			
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	5		のびのび活動シートを使って計画、目標、振り返りのミーティングを行っている。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5			
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5			
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		5	現在は第三者による評価は受けていない。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	5			
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	5			
	12	個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	5			
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、子どもの支援に関わる職員が共通理解の下で、子どもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	5			
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	5		モニタリング後は指導員へ情報共有を行い今後の支援に繋げている。	
	15	子どもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	5			
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、子どもの支援に必要な項目が適切に	5			
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	5		月ごとに話し合いながら活動内容を決めている。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	5		同じ曜日に静と動の活動が重ならないよう考えている。	
	19	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	5			
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	5			

	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	5			
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	5			
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	5			
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせて支援を行っているか。	5			
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	5			
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	5			
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	3	2	現状として緊急に対応する児童がいない が必要であれば早急に対応できる環境を作る。	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	5		必要に応じて対応している。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	3	2	要求があれば対応できる体制を作る。	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	5		移行シートを利用して情報を共有している。	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパー・バイトや助言や研修を受ける機会を設けているか。	5			
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこども活動する機会があるか。		5		
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	2	3	必要に応じて参加している。	
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	5			
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレン特・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	2	3	モニタリングや相談時に話しているが研修等は行っていない。	研修等を計画する。
保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	5			
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	5			
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	5			
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	5			
	40	父母の云の活動を支援することや、保護者会を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	5		年1回の保護者会を開催している。	
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	5			
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	5		毎月さくら通信を発行したり、ブログを発信している。	

	43 個人情報の取扱いに十分留意しているか。	5			
	44 障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	5			
	45 事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	5		マルシェ開催の時に地域の方を招待している。	
非常時等の対応	46 事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	5			
	47 業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	5			
	48 事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	5			
	49 食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	3	2	現在該当児童はいない。事前に確認は行っていない。	
	50 安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	5		年4回の避難訓練を行っている。（地震、水害、火災）	
	51 こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	5			
	52 ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	5			
	53 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	5			
	54 どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	5			